

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	喬木村教育委員会			代表者名	丸山貢弘
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	子ども教育係	連絡先電話番号	0265-33-2002
担当者役職	教育CIO補佐	担当者氏名	長坂亮介	連絡先E-mail	
住所	395-1107 長野県喬木村6664				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号			

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	喬木中学校ICTを活用した自律的な家庭学習推進事業		
概要	喬木中学校におけるICTを活用した家庭学習の充実に向けて、生徒向けワークショップと職員研修の開催				
支援を求める分野	教育情報化/情報教育				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月27日	事前打合せ(実地)	14時30分	16時00分	
			活動時間(分)	90	
2-2. 派遣場所	会場名	喬木中学校		最寄駅	元善光寺駅
	所在地	長野県下伊那郡喬木村1562		最寄駅からの交通手段	車

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一				
評価	よい				
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	学校の状況を具体的に聞き取っていただき、ワークショップや講演会の内容に反映させていただけたこと。				
アドバイザーへの要望事項					

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	3人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	3	0	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	喬木中学校ではICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びを推進したり、生徒の主体性を育成することを目的として宿題を自主的に計画を立てて実施するように自律的な家庭学習にむけて改革を推進しているが、学校評価アンケート等で、一定数の保護者から「先生にしっかり教えてほしい」「宿題をもっと出してほしい」など、(折に触れて家庭向けの通知等で伝えているが)めざしたい方向性がなかなか保護者に浸透しない課題がある。また、生徒の取り組みも、個人差が大きく改善が必要な面が大きい。あわせて、職員にとってもこれまでの「宿題」形式から自律的な家庭学習への移行に向けて、具体的な対応方法や、ICTを活用した方策、日常授業との関わりなど、体系的な取り組みに至っていない点も課題である。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	生徒の自主学習の取り組み状況や授業改善の実施状況を共有し、生徒向けワークショップと職員研修の内容に反映させていただく。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	秋田・福井などの自主学習を先進的に取り組んでいる自治体の事例／喬木中の自主学習の様子から、自主学習の類型を示していただき、セオリーからずれた取り組みになっていることの指摘／自主学習を主体的に行えることは、普段の授業や子どもたちが自ら学ぶ力がついているか、学び方を教わっているかと深く関わることをご教示いただき、ワークショップではその力がついている測る内容にすること	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	子どもたちや取り組みの実態から、ワークショップや職員研修の内容について、柔軟に対応していただけたことになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのためアンケート実施はない	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある ワークショップ、職員研修の実施
4-4. 事業の最終的な目指す姿	生徒：一人一人が学ぶ楽しさを実感し、目的をもってICTを活用した自律的な家庭学習を行えるようになる。これからの時代に求められる「自律的に学び続ける」力を養うことで、社会で幸せに生きていくことができる。 保護者：学校から与えられた宿題をこなすだけでなく、自ら学ぼうとする自身の子供の姿をみることで、わが子がこれからの時代に求められる能力を育てているという実感できる。 学校：生徒の自律的な学習につながる日常の授業改善、自律的な家庭学習を支える保護者に対して適切なサポートや情報提供ができる。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可

掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

